

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合をつくろう \(組織化基本キーワード①\)](#) | [労働組合は、なぜ組織化活動をしなければならないのか?](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織 \(公務員\)](#)[教育カリキュラム](#)

### 労働組合をつくろう (組織化基本キーワード①) 労働組合は、なぜ組織化活動をしなければならないのか?

一人の労働者は社会的弱者の立場に位置します。労働者が社会的に豊かに生きていくには、社会の構成員として正に認知され評価されなければなりません。特に、自由な社会、競争社会の中にあっては、一定の影響力となる力を持たなければ淘汰され、人間としての尊厳を潰されかねません。

したがって、労働者は自身の「人間としての尊厳を守る」立場から結束（団結）し、労働組合を結成しました。一人では弱いが多くの労働者が団結すれば、知恵と力の結集が図られます。

資本家・経営者そして会社など、多くの組織集団は、労働者の団結した集団、労働組合に対し「力」の存在を見ますから、否応なしにその力の前に労働者の人間としての尊厳や対等・平等関係を認知することになります。

こうして、労働者は労働組合を通して「自ら」の豊かな人生を切り開く環境を創ってきたし、これからもそういう中で成長していくのです。

「自己責任」ということが良く言われますが、このような「人間としての尊厳」や「人間らしい生活」を守り高めるためには、労働者自身が自ら行動しなければなりません。

棚から「ぼたもち式」に転がり込んでくるものではありませんし、誰か他の人がやってくれるわけでもありません。むしろ、労働者のこのような行動を妨害するのが世の常であります。

したがって、労働組合として活動している、労働運動を遂行している労働組合のリーダーが中心となって、労働者の結集、団結を働きかけ、労働組合という「力」の存在を形成するのです。しかも現在、労働者が団結し労働組合を結成する以外に有効な方法はありません。

また、既存の労働組合が同じ労働者に労働組合結成を促し促進を図るのは、このように「労働者が人間としての尊厳を守り、豊かな生活向上」へ共に行動する仲間を増やす意味もあります。同時にそれが社会的に大きな力を呼び、労働者一人・個人の問題としてではなく、労働者という枠を脱却し、国民的課題として問題が解決されることにつながるからでもあります。

[▶ キーワード検索はこちら](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

